

主要施策の成果

平成23年度主要施策の成果（一般会計）

議会費関係

1 議会開催日数

○定例会	4回	会期日数	21日
○臨時会	4回	会期日数	4日

2 付議事件数

○町長提出	90件				
・条例	20件	・予算	35件	・決算	13件
・その他	16件	・専決・報告	6件		
○議員提出	31件				
・条例	1件	・報告	25件	・その他	5件

3 請願・陳情

○受理件数	9件
-------	----

4 一般質問の人数

6月	6人	9月	4人		
12月	5人	3月	7人	計	22人

5 委員会

○議会運営委員会	8回（議会運営 他）		
○常任委員会	17回		
・総務企画常任委員会（付託事件審査、所管事務調査 他）	5回		
・教育民生常任委員会（	”	）	6回
・産業建設常任委員会（	”	）	6回
○広報特別委員会	11回（議会だより編集 他、「議会だより第23～26号」発行）		

6 議員派遣

○議員研修	
・町村議会議員研修会（宇都宮市）	平成23年10月11日
○行政調査	
・秋田県美郷町 外	平成23年11月17日～18日

総務費関係

1 人事関係（一般職員）

（1）職員数の状況

	平成23.3.31現在	平成24.3.31現在
一般職	214人	209人
技能労務職	19人	14人
計	233人	223人

（注）年度末退職者を除いた人数

（2）新規採用及び退職数の状況

	新規採用者	退職者
一般職	8人	13人
技能労務職	—	5人
計	8人	18人

2 那珂川町自治功労者等表彰

- 自治功労者表彰 15名
- 高額寄附者感謝状贈呈 1名1団体
- 東日本大震災の災害支援協力者に対する感謝状贈呈 5団体

3 地方自治功労叙勲

○死亡叙勲

- 篠江 照雄 氏 （旭日単光章）元馬頭町議会議員
- 佐藤 壽雄 氏 （旭日単光章）元馬頭町議会議員

4 庁舎維持管理・町有財産管理事業

平成23年3月発生の東日本大震災により被災した本庁舎及び小川庁舎の危険箇所について解体工事等を実施した。また、今後も利用が見込めない建物については安全面も考慮して、解体工事を実施した。

（単位：千円）

事業名等	事業内容	事業費	備考
那珂川町本庁舎危険箇所解体及び改修工事	解体（一部）・改修一式	22,890	

那珂川町小川庁舎増築部分解体及び改修工事	解体（一部）・改修一式	10,899	
旧馬頭東中学校プール等解体工事	解体一式	12,180	交付金事業 (繰越明許)
旧健武小学校プール解体工事	解体一式	5,250	交付金事業 (繰越明許)
旧谷川小学校プール解体工事	解体一式	3,150	交付金事業 (繰越明許)

5 庁舎整備

本委員会は、東日本大震災で被災した本庁舎及び小川庁舎の整備方法並びに消防庁舎建設用地に関する町長からの諮問に応じ、町の将来を見据え庁舎整備のあり方についての基本構想の策定内容の審議を行うため、平成23年6月に設置し、7回の委員会を開催し協議を重ねました。

《検討経緯》

- 第1回検討委員会（平成23年6月3日、馬頭総合福祉センター）
 - ・那珂川町庁舎建設等検討委員会設置要綱について
 - ・那珂川町庁舎整備《実現に向けての検討体制》
 - ・委員長及び副委員長の選任について
 - ・庁舎建設等検討委員会及び庁内検討委員会の検討スケジュールについて
- 第2回検討委員会（平成23年7月8日、馬頭総合福祉センター）
 - ・那珂川町庁舎建設等検討委員会設置要綱の一部改正について
 - ・那珂川町庁舎耐震診断結果報告について
 - ・本庁舎及び小川庁舎の被災状況調査
 - ・本庁舎及び小川庁舎の耐震診断結果を踏まえた現状と対策について
 - ・那珂川町庁舎建設等基本構想（案）の概要審議について
- 第3回検討委員会（平成23年10月28日、馬頭総合福祉センター）
 - ・耐震診断結果を踏まえた対策について
 - ①本庁舎危険箇所解体及び改修工事の概要について
 - ②小川庁舎増築部分解体及び改修工事の概要について
 - ・庁舎整備について
 - ①庁舎の整備手法について
 - ②庁舎の適正な規模について
 - ③庁舎整備の概算費用について
 - ・消防庁舎の用地について

- 第4回検討委員会（平成23年12月2日、馬頭総合福祉センター）
 - ・第3回那珂川町庁舎建設等検討委員会において確認された事項について（現地調査に関する概要説明）
 - ・新庁舎建設に係る想定される用地について
 - ・消防庁舎建設用地に関する概要について
 - ・新庁舎及び消防庁舎建設に係る用地の現地調査
- 第5回検討委員会（平成23年12月22日、馬頭総合福祉センター）
 - ・新庁舎建設に係る想定される用地について
 - ・消防庁舎建設用地に関する概要について
- 第6回検討委員会（平成24年1月30日、馬頭総合福祉センター）
 - ・第5回那珂川町庁舎建設等検討委員会において確認された事項について
 - ・水害発生時における浸水の想定、地質・地盤状況について
 - ・新庁舎建設に係る想定される用地の絞り込みについて
 - ・消防庁舎建設に係る用地の絞り込みについて
- 第7回検討委員会（平成24年2月16日、那珂川町商工会館）
 - ・第6回那珂川町庁舎建設等検討委員会において確認された事項について
 - ・那珂川町庁舎建設に関する基本的な構想について（構想案）
 - ・那珂川町庁舎建設に関する基本的な構想の策定並びに消防庁舎建設に関する用地について（答申案）
- 那珂川町庁舎建設等に関する基本的な構想の策定並びに消防庁舎建設に関するよう
地について（答申）（平成24年2月23日、町長室）

6 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

(1)交通安全対策

- 「那珂川町交通事故抑止対策町民の集い」の開催
 - ・平成23年8月25日 山村開発センター

(2)交通指導員の設置

- 教育指導員 1名
- 一般指導員 6名

(3)交通安全教育の実施

- 幼稚園・保育園児童対象 63回 3,238人
- 小中学校児童生徒対象 31回 1,075人
- 母親対象 7回 270人

○高齢者対象 40回 685人

(4)交通安全施設の整備

○道路反射鏡 1基

○区画線 5,015.8m

(5)安全で安心なまちづくり

○自主防犯団体の活動

・商工会青年部防犯隊：営業時間中にあわせて防犯活動を実施

7 地域公共交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、デマンドタクシーの実証運行及び平成23年4月5日から那珂川町コミュニティバス「馬頭烏山線」の運行を開始した。

(1)デマンドタクシー「なかちゃん号」利用実績

23年度 月	時間帯別利用者数						利用者計 (月ノ人)	運行日数 (日)	1日あたり (人ノ日)
	7:30	9:00	10:30	12:30	14:00	15:30			
4月	161人	216人	231人	270人	93人	76人	1,047人	20日	52.4人
5月	182人	242人	291人	299人	80人	80人	1,174人	19日	61.8人
6月	252人	269人	323人	267人	139人	119人	1,369人	22日	62.2人
7月	228人	268人	297人	295人	106人	96人	1,290人	20日	64.5人
8月	238人	305人	298人	304人	126人	142人	1,413人	23日	61.4人
9月	244人	273人	319人	296人	124人	112人	1,368人	20日	68.4人
10月	206人	320人	310人	316人	130人	119人	1,401人	20日	70.1人
11月	177人	355人	343人	322人	138人	144人	1,479人	20日	74.0人
12月	152人	373人	395人	321人	143人	120人	1,504人	19日	79.2人
1月	168人	278人	325人	285人	133人	125人	1,314人	19日	69.2人
2月	140人	371人	354人	323人	149人	160人	1,497人	21日	71.3人
3月	229人	388人	442人	361人	135人	186人	1,741人	21日	82.9人
計	2,377人	3,658人	3,928人	3,659人	1,496人	1,479人	16,597人	244日	68.1人

☆デマンド交通利用登録者数（平成24年3月31日現在）2,581人

(2) 那珂川町コミュニティバス「馬頭烏山線」の利用実績

- 乗車人数 31,924人
- 運行日数 357日

8 企画調整・地域振興

(1) 会議等の開催

まちづくりに資する計画の策定及び推進に関する事項を審議するため、町長の諮問機関である那珂川町まちづくり審議委員会を1回開催した。町の重要施策の審議及び事務事業の総合的な調整を図るため、庁議を10回開催した。

(2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる那珂川町総合振興計画後期基本計画の重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

(3) 過疎地域自立促進計画の進行管理

過疎地域自立促進計画の重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

(4) 情報システムの総合管理

情報資産を様々な脅威から保護することと、情報資産の機密性、安全性及び可用性を確保していくために那珂川町情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの総合管理を行った。

(5) 学官連携の取組み

学校法人宇都宮美術学院宇都宮メディア・アーツ専門学校との相互友好協力協定に基づき、次の事業を行った。また、相互友好協力協定が期限の3年を経過したことから、平成24年度から平成26年度まで協定を継続することとした。

- ・「スポッ！と那珂川町」 2編制作
- ・那珂川町の昔話（アニメーション）2話制作
- ・環境教育用小冊子（漫画）作成・・・小学校5年生対象
- ・新商品デザインマッチング事業（温泉とらふぐ鱈酒セット）
- ・間伐材を利用したプランターキット製作
- ・学官連携展の開催

～この3年の歩み～ 場所：道の駅ばとう H24.3.13～18

(6) まちづくり3大重点プロジェクト

○「情報通信基盤の活用」推進プロジェクト

地域情報化基本計画及びケーブルテレビアプリケーション計画を基に、情報通信基盤の有効な利活用を図った。

○「自然・環境との共生」推進プロジェクト

那珂川町環境基本計画に基づき、環境のまちづくり事業を推進した。

- ・環境のまちづくり推進会議
 - ◇ 推進会議 3回
 - ◇ 部会（自然環境・生活環境・資源エネルギー・環境学習） 34回
 - ◇ 視察・講演会参加 2回（18名）
- ・太陽光発電等設備導入補助
 - ◇ 太陽光発電 34件 補助額 5,186千円
 - ◇ 高効率給湯器 46件 補助額 2,180千円
- ・環境教育用小冊子（漫画）作成
 - ◇ テーマ 「緑と水」（小学5年生対象）
 - ◇ 作成方法 環境のまちづくり推進会議と町内小中学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校の連携により作成
 - ◇ 作成部数 750部
- ・マイバッグキャンペーン開催

平成23年9月1日から10月31日までの2ヶ月間、町内25店舗で実施
応募総数 53通、うち有効応募数 46通
- ・環境学習会開催支援 1件
- ・環境に関する人材育成支援 1件（3日間）
- ・広報啓発活動
 - ◇ 広報なかがわに「環境について考えよう」の連載（4月号～翌年2月号）
環境のまちづくりを基軸とする那珂川町地域振興計画を協議した。
那珂川町地域振興計画策定委員会 3回

○「行財政改革」推進プロジェクト

第2次那珂川町行財政改革大綱を平成23年10月に策定し、具体的な取組目標をまとめた。

第2次行財政改革推進計画を平成24年3月に策定し、前期計画に引き続き行財政改革の推進を図った。

(7) 土地利用調整

那珂川町土地利用調整基本計画に基づき、適正な土地利用の誘導を行った。

(8) 協働によるまちづくり推進事業

○地域住民との協働によるまちづくり推進事業補助金

「地域住民が主役となる社会」、「地域住民が協働する社会」、「地域が自立する社会」を目指して、1つのまちづくり団体に対して補助金を交付した。

- ・南町商店会 386千円（わがまち協働推進事業）

(9) 提案型補助金制度

創意と工夫による住民本位のまちづくりを推進するため、提案型補助金制度によ

り、新たに1件の提案を採択した。(継続12件)

9 広報・広聴

(1) 広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

○広報なかがわ(毎月10日発行) 5,800部/月

(2) 町勢要覧の発行

「達人のいるまち」をテーマとして那珂川町が持つ魅力を伝え、まちづくりへの取り組みを町内外に伝える町勢要覧を発行した。 6,500部発行

(3) 那珂川町公式ホームページの運営

「行政情報」、「観光と文化」、「公共施設」、「町のデータ」の4つの柱をメインに町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。また、ホームページのリニューアルに伴い導入したCMSを活用し、迅速で正確な情報の掲載に努めた。

(4) 統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

○学校基本調査

毎年5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼稚園の設置状況(児童生徒数、教諭の配置状況など)を調査した。

○経済センサス — 活動調査

2月1日を基準日として、町内38調査区の商工業の事業所(927事業所)を対象に従業者数、業務内容、売上高等の状況を調査員(12人)が調査した。

(5) 行政事務連絡等

行政区長・班長を委嘱し、事務執行の協力を得た。

○行政区長 37人

○行政班長 195人

(6) 情報公開等

○情報公開の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町長	5	1	3	1
教育委員会	なし	—	—	—

○個人情報保護の運用状況

個人情報の開示請求はなかった。

10 税務

(1) 町税等収入状況

① 町税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	収入率
町 民 税	929,878,033	857,912,785	5,134,619	66,830,629	92.26
(1) 個 人	688,655,033	620,486,285	4,602,519	63,566,229	90.10
現年課税分	617,352,282	604,704,692	0	12,647,590	97.95
滞納繰越分	71,302,751	15,781,593	4,602,519	50,918,639	22.13
(2) 法 人	241,223,000	237,426,500	532,100	3,264,400	98.43
現年課税分	237,171,200	236,312,500	35,000	823,700	99.64
滞納繰越分	4,051,800	1,114,000	497,100	2,440,700	27.49
固 定 資 産 税	1,313,494,663	961,920,065	7,366,826	344,207,772	73.23
(1) 固定資産税	1,307,073,463	955,498,865	7,366,826	344,207,772	73.10
現年課税分	994,954,500	888,966,196	60,600	105,927,704	89.35
滞納繰越分	312,118,963	66,532,669	7,306,226	238,280,068	21.32
(2) 交付金	6,421,200	6,421,200	0	0	100.00
軽自動車税	46,711,542	41,713,042	557,600	4,440,900	89.30
現年課税分	42,063,500	40,883,100	12,000	1,168,400	97.19
滞納繰越分	4,648,042	829,942	545,600	3,272,500	17.86
町たばこ税	135,174,978	135,174,978	0	0	100.00
特別土地保有税	6,438,758	0	0	6,438,758	0.00
現年課税分	0	0	0	0	0
滞納繰越分	6,438,758	0	0	6,438,758	0.00
入湯税	14,303,250	14,303,250	0	0	100.00
現年課税分	14,209,670	14,209,670	0	0	100.00
滞納繰越分	93,580	93,580	0	0	100.00
町 税 合 計	2,446,001,224	2,011,024,120	13,059,045	421,918,059	82.22
現年課税分	2,047,347,330	1,926,672,336	107,600	120,567,394	94.11
滞納繰越分	398,653,894	84,351,784	12,951,445	301,350,665	21.16

② 国民健康保険税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	収入率
国民健康保険税	716,330,141	499,000,376	16,824,921	200,504,844	69.66
(1) 特別徴収	36,235,500	36,250,800	0	△15,300	100.04
(2) 普通徴収	680,094,641	462,749,576	16,824,921	200,520,144	68.04
現年課税分	468,473,000	418,412,786	0	50,060,214	89.31
滞納繰越分	211,621,641	44,336,790	16,824,921	150,459,930	20.95

③介護保険料

(単位：円，%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
介護保険料	184,779,717	181,567,335	553,812	2,658,570	98.26
(1)特別徴収	171,764,200	171,884,400	0	△120,200	100.07
(2)普通徴収	13,015,517	9,682,935	553,812	2,778,770	74.40
現年課税分	10,182,800	9,307,200	0	875,600	91.40
滞納繰越分	2,832,717	375,735	553,812	1,903,170	13.26

④後期高齢者医療保険料

(単位：円，%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
後期高齢者医療保険料	96,471,350	95,877,950	0	593,400	99.38
(1)特別徴収	80,226,750	80,427,250	0	△200,500	100.25
(2)普通徴収	16,244,600	15,450,700	0	793,900	95.11
現年課税分	15,062,000	14,426,200	0	635,800	95.78
滞納繰越分	1,182,600	1,024,500	0	158,100	86.63

※特別徴収還付未済額：336,000円

(2)徴収嘱託員収納実績

- 徴収嘱託員 2人
- 収 納 額 71,100,522円

(3)税務関係証明等

- 件 数 3,816件
- 手数料 927,690円

11 戸籍・住民

住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出の正確且つ迅速な処理を行い、住民票や印鑑証明等の証明発行事務のスピードアップに努めた。戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

- 戸籍届出等件数 1,092件 (届出599件・送付493件)

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

- 証明等発行件数

戸籍関係	9,420件
住民票	8,910件
印鑑証明	6,234件
その他	3,117件

12 選挙

- 栃木県議会議員選挙 平成23年 4月10日執行 投票率：51.88%
- 塩那台地土地改良区総代選挙 平成23年 5月18日執行 無投票

13 監査委員

(1) 例月出納検査の実施

○ 4月から毎月実施 計 12日

(2) 決算審査

○ 一般会計及び特別会計の審査期間 平成23年7月20日～8月1日

○ 水道事業の審査日 平成23年7月8日

○ 意見書提出日 平成23年8月11日

(3) 定期監査

○ 一般会計及び特別会計の監査期間 平成24年2月2日～2月9日

○ 水道事業の監査日 平成24年2月9日

○ 監査結果報告書提出日 平成24年2月23日

(4) 財政援助団体等補助監査

○ 那珂川町敬老会実行委員会、那珂川町老人クラブ連合会、小川土地改良区
平成23年10月20日

○ 那須南農業協同組合、那珂川町体育協会、那珂川町シルバー人材センター
平成23年11月21日

○ 小川地区農産物病害虫防除対策協議会、那珂川町馬頭地区病害虫防除対策協議会、
特定非営利活動法人ぼらーれ、那珂川町商工会 平成23年12月20日

○ 監査結果報告書提出日 平成24年1月20日

(5) 財産区特別会計決算審査

○ 馬頭・武茂・大内・大山田財産区審査 平成23年7月21日

○ 意見書提出日 平成23年8月11日

民生費関係

1 福祉団体等への支援

地域での要援護者への対応及び地域福祉活動の強化のため、福祉団体等の育成・支援を実施した。

○ 民生委員児童委員への支援 50名 3,871千円

○ 社会福祉協議会への支援

・ 社会福祉協議会運営費補助金 36,050千円

・ 社会福祉協議会事業費補助金 2,678千円

○ 災害見舞金

・ 火事1件、自然災害74件（地震73件、台風1件） 2,430千円

2 障害者福祉

障害者の自立更生を推進するため、身体障害者巡回診査更生相談、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

また、障害者施設の事業運営安定化のため、障害者自立支援特別対策事業を実施した。

○補装具給付及び修理	34件	2,227千円
○自立支援(更生)医療	64人	17,736千円
○重度心身障害者医療費助成	285人・6,125件	29,200千円
○特定疾患患者見舞金	113人	3,681千円
○障害者福祉サービス事業	96人	160,693千円
○障害者地域生活支援事業	161人	44,270千円
○障害者自立支援特別対策事業		2,122千円

3 高齢福祉

高齢者の生きがいがづくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

○居室事業	0人	2,280千円
○敬老会	17会場・1,447人	6,949千円
○敬老祝金 (80、85、90、95歳)	524人	4,050千円
(100歳)	2人	200千円
○要援護者実態調査		3,923千円
○緊急通報システム装置の貸付(H24.3.31現在)	78件	2,846千円
○ねたきり老人等寝具洗濯サービス事業	14人	165千円
○軽度生活援助事業	6人	136千円
○老人福祉施設入所措置(H24.3.31現在)	養護17人	39,303千円
○馬頭総合福祉センター管理運営	施設利用者22,224人	21,648千円
○小川総合福祉センター管理運営	施設利用者19,000人	38,354千円
○シルバー人材センター運営補助		4,900千円
○老人クラブ等社会活動推進事業(補助金)		2,450千円
○要援護者マップ整備事業		2,993千円
○介護基盤緊急整備等臨時特例事業(えにし苑)		60,000千円
○介護施設開設準備経費助成特別対策事業(えにし苑)		10,800千円

4 国民年金

公的年金(国民年金)の必要性を十分に周知させるため、「広報なかがわ」への掲載

等により普及推進を図った。また、成人式の新成人に年金のパンフレットを配布し、国民年金制度のPRに努めた。

○国民年金被保険者数 3, 997人
(1号:3,135人、3号:862人 ※H24.3月現在)

5 児童福祉

(1) 保育園の運営

町立保育園(4か所)を運営し、施設設備の充実を図るとともに措置児童の保育を行った。

○児童数 306人 60,732千円
(3歳未満児117人、3歳児65人、4歳以上児124人)

○保育園敷地の放射能測定

簡易放射能測定器を各保育園に配置し、開園日の午前と午後に園庭の放射線量を測定して、安全確認のうえ保育をした。

○給食の対応

給食においては、流通食材を利用して安全な給食を提供した。

(2) 児童館の運営

児童館を運営し、生活上の遊び方などの行事を実施し、児童の健全育成に努めた。

○利用者数 1,939人 3,021千円

(3) 放課後児童クラブの運営

下校後、保護者等が家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。

○放課後児童クラブ運営事業 2箇所 41人 9,166千円

(4) 子育て支援センターの運営

子育て家庭等に情報提供及び相談指導を実施し、地域全体での子育てを支援する基盤形成を図った。

○利用者数(親子) 3,005人 2,347千円

(5) 子ども手当の支給

0歳から中学校修了までの子どもを養育する父母等に支給し、子供の健やかな育ちを応援した。

○子ども手当(6・10月支払期分)

年齢	支給月額(円)	被用・非被用別	延児童数(人)	支給金額(千円)
3歳未満	13,000	被用者	1,505	19,565
		非被用者	750	9,750

小学校終了前	13,000	被用者	5,972	77,636
		非被用者	3,214	41,782
中学校終了前			3,694	48,022
合計			15,135	196,755

○子ども手当（10月からの特別措置法による2月支払期分）

年齢	支給月額(円)	被用・非被用別	延児童数(人)	支給金額(千円)
3歳未満	15,000	被用者	773	11,595
	15,000	非被用者	348	5,220
小学校終了前 (第3子以降は 15,000円)	10,000	被用者	2,635	26,350
	15,000		427	6,405
	10,000	非被用者	1,265	12,650
	15,000		329	4,935
中学校終了前	10,000		1,789	17,890
合計			7,566	85,045

(6) 要保護児童対策

要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見と適切な対応に努めた。また、児童及び保護者を対象に「子どもの人権教育」を開催し、児童虐待の防止と、将来における虐待の連鎖を防止するよう努めた。

- 実務担当者会議 12回
- 子どもの人権教育「CAPなす」 1回 26人

(7) DV被害者等相談支援

DV被害者及び家族に対し相談支援を行った。

- 相談支援 156回 38人

6 母子・父子福祉

父母の一方又は両方が死亡した児童に対して、遺児手当を支給し、児童の健全な育成に努めた。

また、ひとり親世帯・中学校修了前までのこども・妊産婦に対して医療費の助成を行い、対象者の健康増進及び福祉の向上に努めた。

- 遺児手当 6人 243千円
- ひとり親家庭医療費助成 539人 2,602件 5,135千円
- こども医療費助成 2,084人 15,249件 25,279千円
- 妊産婦医療費助成 172人 338件 2,320千円

衛生費関係

1 保健予防

人生80年時代を迎え、町民の健康問題は最重要課題であり、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と、町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を実施した。

(1)健康づくり推進事業

ライフスタイルの多様化に伴い増加している生活習慣病を予防改善するために、栄養・食生活、運動・身体活動の見直しや習慣化について実践できるよう支援した。

○メンバーズらくらく倶楽部	29回	452人
○食生活改善推進員協議会	19回	426人
○カトレア会	12回	216人
○その他		
・「広報なかがわ」による啓発活動（食生活を見直そう）	12回	
・「福祉まつり」での食育普及及び啓発活動	1回	120人
・「福祉まつり」での体組成測定	1回	64人

(2)生活習慣病予防対策事業

青壮年期からの生活習慣病予防と疾病の早期発見、早期治療を目的に、健康増進法に基づき、総合的な保健事業を実施した。

また、国の施策である「がん検診推進事業」により、特定の年齢のがん検診の自己負担金を無料とし、受診率の向上を図った。

○病態別栄養相談	9回	17人
○訪問指導	随時	10人
○基本健康診査(20～39歳)	26回	399人
○胃がん検診(20歳～)	26回	1,691人
○子宮がん検診(集団検診)(20歳～)	14回	1,223人
(うち、がん検診推進事業受診者	82人)	
○子宮がん検診(個別検診)	9～2月	33人
(がん検診推進事業)		
○乳がん検診(20歳～)	14回	1,604人
(うち、がん検診推進事業受診者	234人)	
○乳がん検診(個別検診)	5回	22人
(がん検診推進事業)		
○大腸がん検診(20歳～)	26回	2,563人
(うち、がん検診推進事業受診者	298人)	

○肺がん検診（20歳～）	26回	2,630人
○前立腺がん検診	14回	881人
○肝炎ウィルス検診	26回	141人
○骨粗しょう症検診	14回	238人
○歯周疾患検診	7～9月	56人
○精神保健相談会	12回	24人
○のんびりくらぶ	115回	473人
○生活習慣病予防教室「なかがわフィットネス倶楽部」		
ヘルスアップコース	24回	191人
パワーアップコース	16回	161人

(3) 母子保健対策事業

母子の一貫した健康管理を目指し、母子保健法に基づく健康教育・相談及び各種健診を実施した。また、成長過程におけるさまざまな発達課題に対して、関係機関と連携をとりながら、児の健やかな成長を促すことを目的とした発達障害児支援事業を実施した。

○新生児訪問（こんにちは赤ちゃん事業）	随時	100人
○母子手帳の交付	随時	93人
○乳児健診（4か月・8か月）	12回	202人
○1歳児相談	6回	89人
○1歳6か月児健診	6回	93人
○2歳児相談	6回	108人
○3歳児健診	6回	115人
○3歳児精密健康診査	随時	9人
○虫歯予防教室（フッ素塗布）	12回	566人
○妊産婦一般健康診査	随時	1,344人
○みんなの子育て広場	21回	623人
○マタニティクラス	7回	22人
○のびのび発達相談	10回	187人
○乳幼児発達相談	16回	50人
○みかん教室（早期教育相談グループ教室）	11回	186人
○発達障害児事例検討会、研修会	1回	110人

(4) 不妊治療費助成事業

保険が適用されない高額な不妊治療に対し、経費の一部を助成する不妊治療助成事業を実施した。

○不妊治療費助成事業	随時	5人
------------	----	----

(5) 感染症予防対策事業

結核及び各種感染症の発症予防のため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施した。また、高齢者の肺炎罹患による重篤化予防のため、肺炎球菌ワクチンの助成を実施した。

○定期予防接種	・BCG接種	102人
	・ポリオ	179人
	・麻しん・風しん混合	520人
	・二種混合	158人
	・三種混合	453人
	・インフルエンザ	4,001人
	・日本脳炎	526人
○任意予防接種の助成	・肺炎球菌ワクチン	155人
	・子宮頸がん予防ワクチン	218人
	・ヒブワクチン	99人
	・小児用肺炎球菌ワクチン	107人

(6) へき地医療対策事業

無医地区住民の医療を確保するため、へき地歯科巡回診療を実施した。

○対象地区：大内・大那地・小砂	24回	延118人
-----------------	-----	-------

2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

(1) 廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

○廃棄物内訳

・可燃ごみ	4,099 t
・不燃ごみ	327 t
・資源ごみ	834 t
・粗大ごみ	97 t
・有害ごみ	10 t

※資源ごみ内訳	
・スチール缶	53 t
・アルミ缶	8 t
・ペットボトル	52 t
・びん類	177 t
・紙類	439 t
・布類	105 t

○搬入内訳

・委託業者収集搬入	4,422 t
・直接搬入	945 t

(2) 畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登

録、予防注射を実施した。

- 登録 82頭
- 予防注射 957頭
- 野犬・不用犬(猫)引取り 69(31)頭

(3) 合併処理浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、合併処理浄化槽設置に対し補助を行った。

- 合併処理浄化槽設置整備補助金 79件 30,782千円

(4) 瓦礫処理及び放射能対策

平成23年3月11日発生の中日本大震災により発生した瓦礫処理及び放射能漏れに対応するため必要な措置を講じた。

○瓦礫処理

大谷石、コンクリート、瓦、木質について小川総合福祉センター、旧ひばり幼稚園、旧東中学校を受け入れ先としリサイクル等により処分を行った。

(処分量 大谷石1,912t、コンクリート2,019t、瓦1,514t、木質285t。)

○空間放射線量測定

山村開発センターにおいて、測定及び結果をHP等に公表した。

○放射線量測定器の貸し出し

2月1日より測定器1台の貸し出しを行った。(貸し出し件数 31件)

3 公園墓地・小川墓地

公園墓地200区画及び小川墓地24区画の維持管理を行った。

4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

(1) 河川等の水質検査の実施(37ヶ所)

(2) 騒音、悪臭等の防止対策

(3) 不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

(4) 北沢地区不法投棄物処理対策

行政区や地域振興推進組織の会議に出席するとともに、地域との信頼関係を構築するための要望を行った。また、最終処分場の理解を深めてもらうための先進地視察に協力した。

○地域振興策に関する会議出席

- ・行政区(和見・小口、集落座談会を含む) 4回
- ・地域振興推進組織(和見地域振興推進協議会・部会) 5回

○最終処分場先進地視察

- ・エコフロンティアかさま（茨城県笠間市） 1回（計22名）
- ・埼玉県環境整備センター（埼玉県寄居町） 2回（計42名）

○市町村長会議への要望

- ・県に対し、馬頭処分場整備室那珂川分室の移設及び機能強化を要望

農 林 水 産 業 費 関 係

1 農業委員会

農業委員会等に関する法律に基づき、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事業を行った。

(1) 農地法に係る権利の設定・移転・転用等の許認可事務とともに、農業経営基盤法に基づく利用関係の調整や農地流動化の推進活動を実施した。

○ 農地法 3 条（農地の権利異動等）	3 9 件	1 7 2 筆	25.79ha
○ 農地法 4 条（自己農地の転用）	4 件	4 筆	0.14ha
○ 農地法 5 条（転用での権利設定・移転）	1 4 件	2 4 筆	1.06ha
○ 非農地証明	7 件		

(2) 農業委員会は、農地の公的管理主体として、食糧の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図るため、優良農地を対象に農地パトロールを行い、利用状況調査を実施した。

町そば生産組合員等と共に健武の細田地区に耕作放棄されていた遊休農地の解消対策を行った。（H 2 2～H 2 4 実施）

又、遊休農地の解消に向け、関係機関団体等と連携し、菜種・ヘアリーベッチの作付けの促進と、試験的にマコモタケを作付けし、販路拡大等の検討会を実施した。

(3) J A と連携し、農業者年金制度の普及及び加入推進を行った。

(4) 関係機関と連携し、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び農業青色申告制度の普及推進活動を実施した。

2 農業振興事業

農業振興については、東日本大震災関連事業により、土壌改良や農産物の安全・安心キャンペーンを実施した。また、中山間地域等直接支払交付事業、農地・水・環境保全向上対策事業により地域の振興・環境保全の取り組みや農業担い手の育成など農地利用の推進事業を行った。

さらに、休耕田を利用して、ホンモロコ養殖の実証を行った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
東日本大震災農業生産対策事業	放射性物質吸収抑制土壌改良 剤けい酸加里導入	289	総事業費719
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業 急傾斜地 16集落 緩傾斜地 50集落	30,955	
農地・水・環境保全向上対策事業	農地水環境保全の良好な保全と 質的向上の共同作業 取組集落 8集落	3,783	総事業費15,133
使用済農業生産資材適正処理 推進事業	使用済み農業用ビニール、農薬袋 等の処理	377	総事業費2,002
食育体験実践事業	農業・料理体験を通じて食育の推 進(6小学校)	300	
とちぎの集落営農確立支援事業	集落営農組織の育成	183	総事業費1,173
活力ある中山間地域づくり事業	そば収穫機導入への助成	3,000	総事業費5,500
那珂川町農産品ブランド化推進事 業	そば生産組合への助成	500	
JAなす南梨・トマト選果施設整備事 業	梨・トマト選果施設整備事業費補 助	6,670	総事業費 333,522
ホンモロコ養殖実証事業	ホンモロコ養殖実証展示園設置 及びPR	600	

3 畜産振興事業

J A那須南和牛部会、酪農組合等との連携により高品質の牛肉・生乳の生産を推進した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	和牛振興事業、優良乳用後継子牛保留 事業、家畜伝染病の予防対策事業、畜 産団体補助事業	3,991	

4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、農道整備事業等を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
県単農業農村整備事業	小口地区農道整備事業Ⅱ期工事 農道舗装L=1513m 測量設計一式	26,352	
	小川豆田地区かんがい排水整備事業 U型水路工 600×600 L=417m 測量設計 一式 事業補助金	8,010	

戦略作物生産拡大関連 基盤緊急整備事業	三輪地区水路工事 U型用水路 400×400 L=1631m 測量設計一式	28,791	
	小口板山地区農業用揚水機工事 水中ポンプφ125 測量設計一式	6,754	
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	33,149	

5 イノシシ肉加工事業

イノシシ肉処理加工施設を運営し、獣害の軽減及び特産品生産による地域の活性化を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
イノシシ肉加工事業	受入頭数 180頭 (町内69、町外111)	7,877	シシ肉販売収入 4,396

6 林業振興事業

松くい虫防除事業により森林病虫害の防除に努めるとともに、林道の維持管理を行った。また、八溝産材の需要拡大を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
松くい虫防除事業	衛生伐 34.5m ³	432	
森林整備地域活動支援交付事業	施業集約化の促進 1協定 50ha	1,600	
	作業路網の改良活動 15協定 1832.31ha	9,161	
とちぎの元気な森づくり事業	里山の整備 16箇所 65.6ha	14,335	
	里山の管理 7箇所 59.2ha	2,835	
林道維持管理事業	林道恩田薬利線外2維持・修繕 林道城間線舗装修繕工事 L=587m W=4.0m	342 9,870	(繰越明許)
森林整備加速化・林業再生基金事業	森林病虫害防除 13.2m ³ (薬利地内)	129	
林業・木材産業構造改善特認事業	林業施設整備	70,000	
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助 9件	2,421	
林道滝ヶ沢線用地測量登記業務委託事業	林道滝ヶ沢線境界測量、用地測量図作成 2.18ha	6,300	(繰越明許)

◆ 林業施設利用状況

施 設 名	利 用 者 数	備 考
森林公園特産品生産施設	600人	
森林公園緑の展示館	700人	
観光乗馬施設（ホースランド）	306人	
緑の交流館	351人	

7 放射能対策

- イノシシ肉の放射性物質検査を全頭実施した。
- 関係機関とともに農産物、林産物及び水産物における放射性物質の検査を実施した。
- 放射性物質の吸収抑制効果のある土壌改良剤を導入した。
- 農産物の安心安全キャンペーンを実施した。

商 工 費 関 係

1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業、商工業振興事業等について支援した。

さらに、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

(1) 商工会の支援

- 那珂川町商工会経営改善普及事業費補助金 13,143千円
- 商工業振興事業費補助金 1,385千円
- 商工会まちづくり委員会補助金 450千円
- 商工会館修繕工事補助金 1,480千円

(2) 中小企業振興資金融資状況

- 新規貸付件数 39件 110,930千円
- 信用保証料補助額 39件 1,283千円
- 特定中小企業者認定 5号 39件
- 東日本大震災復興緊急保証中小企業者認定 22件

2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・料飲店等の紹介、地元特産品の宣伝及び観光イベントへの参加などに積極的

に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

(1) 観光関連団体への補助

- 那珂川町夏まつり実行委員会 3, 500 千円
- 小川地区山車保存会 250 千円
- 那珂川町観光協会 8, 060 千円
- 馬頭温泉保護開発協会 900 千円

(2) 主な観光施設の利用状況 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村	1, 177 人	
町営温泉浴場ゆりがねの湯	77, 376 人	
道の駅ばとう	466, 744 人	推計値
ふるさとの森公園	4, 404 人	
まほろばキャンプ場	1, 271 人	

3 消費者行政

消費者被害拡大防止のため、消費者啓発パンフレットを町内中学生及び馬頭高校生に配布し、消費者啓発冊子を役場や福祉センター等の窓口に設置した。また、町内中学3年生を対象に消費者啓発に係る寸劇を上映した。さらに、町ホームページやケーブルテレビ等を通じて広報活動を行った。(相談件数4件)

4 開発推進

栃木県企業立地促進協議会等を通じ、情報収集に努め、企業訪問など誘致活動を行った。また、既存立地企業のフォローアップを行い、企業の定着促進を行った。

土木費関係

1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしていることから、地域間の幹線道路や生活道路を整備し、都市間を結ぶ主要幹線道路である国・県道の整備を関係機関に要望した。

(単位：千円)

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
改良舗装	恩田線	改良・舗装・補償一式 L=110m W=8.5m	11,846	うち繰越明許費 11,846
	上川原線	改良・舗装・補償一式 L=80m W=5.0m W=4.0m	26,733	うち繰越明許費 26,733
	梅曾公園線	舗装一式 L=295m W=2.5m	2,142	うち繰越明許費 2,142
	久通仁中線	舗装一式 L=200m W=3.0m	2,730	うち繰越明許費 2,730
	谷田高岡線	舗装一式 L=300m W=5.0m	4,137	うち繰越明許費 4,137
	東中学校線	舗装一式 L=120m W=7.0m	9,093	うち繰越明許費 9,093
	久那瀬大桶線	舗装一式 L=150m W=6.5m	5,145	うち繰越明許費 5,145
	大内矢又線外1	舗装一式 L=556m W=2.5m	4,116	うち繰越明許費 4,116
	日向線	改良・舗装・補償一式 L=900m W=5.0m	38,941	
	金谷線	改良・舗装・補償一式 L=2,700m W=10.5m	37,064	
	76号線	設計一式 L=2,700m W=10.5m	20,936	
	和見立野線	測量一式 L=1,200m W=5.0m	10,867	
	都新道線	測量一式 L=450m W=10.0m	5,880	
	一渡戸大鳥線	用地買収・測量一式 L=297m W=10.0m	1,735	

2 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業（馬頭Ⅳ地区、馬頭Ⅴ地区、和見Ⅰ地区、和見Ⅱ地区）を実施した。

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量 馬頭Ⅳ A=0.14k㎡（繰越明許）、 馬頭Ⅴ A=0.17k㎡、和見Ⅱ A=1.29k㎡	26,307	馬頭ⅣFG工程 うち繰越明許費 3,200
	座標変換・検証測量 馬頭Ⅳ、和見Ⅰ	5,250	東日本大震災対応
	複製図作成・数値情報化 馬頭Ⅳ、和見Ⅰ	788	

3 公園

町民の身近な交流の場として、施設の維持管理に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容等	事業費	備考
馬頭公園展望台及び四阿補修工事	震災に伴う修繕	686	

4 住宅

町営住宅226戸、町有住宅79戸の維持管理を行い、良好な居住環境の整備に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容等	事業費	備考
町営古館住宅修繕工事	住宅火災に伴う1-5号室の修繕	1,155	保険対応
町営愛宕住宅・町有上郷地住宅解体工事	愛宕4戸、上郷地2戸	4,463	
町営大宝地住宅空家修繕工事	大宝地B-203号室	420	
都分譲地排水管修繕工事	MH埋戻し及びVUφ100(L=2m) の布設替	100	

消 防 費 関 係

1 東日本大震災の被害状況

○町災害復旧等支援の状況

- ・町災害復旧等支援金申請件数 1,205件
- ・町災害復旧等支援金支払件数 715件(59.3%)
- ・町災害復旧等支援金支払金額 68,707,062円

2 火災の概況

平成23年度中的那珂川町における火災出動件数は8件で、前年度に比較して7件の減であった。

○主な火災

発生日	場 所 等
4月5日	東戸田地内その他の火災(林野)
4月6日	大山田下郷地内その他の火災(休耕田)
5月24日	馬頭地内建物火災(住家)
11月22日	小川地内建物火災(住家)
1月20日	吉田地内建物火災(住家)
3月14日	三輪地内その他の火災(林野)

3月27日	馬頭地内その他の火災（原野）
3月30日	高岡地内その他の火災（林野）

3 消防施設等の整備

○屋外拡声装置整備（41箇所） 119,700,000円

4 消防団点検・訓練関係

（1）点検

10月30日 那珂川町消防団通常点検 出場率 74.8%

（2）訓練

8月28日 那珂川町消防団放水中継訓練

5 消防功労叙勲

○春秋叙勲

杉本 益三 氏 （瑞宝単光章）元小川町消防団長

教育費関係

1 学校教育

（1）小学校・中学校

文部科学省及び県教育委員会の教育施策を踏まえ、人間尊重の精神を基盤として、豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。町教育基本方針に基づき、特に地域に根ざした調和と特色ある教育行政を課題として、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図った。

また、適正規模での児童の健全な教育環境を整備するため、小川地区においては、小川地区小学校統合検討委員会で小川地区小学校の在り方について検討を行い、統合方針を定めた。

なお、教育環境の充実と教育施設・教材備品の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

○小学校教育用コンピュータ機器借上	3,319千円
○小学校教材備品費	2,986千円
○小学校就学援助費	2,980千円
○総合学習推進費	1,515千円

○中学校生徒通学費補助	970千円
○中学校教育用コンピュータ機器借上	3,085千円
○中学校教材備品費	1,923千円
○中学校就学援助費	3,340千円
○外国語指導助手設置費	6,174千円
○小学校スクールバス運転業務	25,357千円
○中学校スクールバス運転業務	12,083千円
○馬頭中学校机・椅子購入	1,499千円
○馬頭小学校内資料館武道館トイレ解体工事及び環境整備工事設計業務	1,890千円
○馬頭小学校内資料館武道館トイレ解体工事	9,030千円
○馬頭小学校環境整備工事	22,575千円
○馬頭小学校環境整備工事監理業務	420千円
○小川小学校ランチルーム耐震補強及び大規模改修工事設計業務	3,045千円
○小川南小学校立木伐採及び伐倒材粉碎業務	951千円
○小学校児童用図書購入（繰越明許）	2,299千円
○馬頭小学校図書室空調設備設置工事設計業務（繰越明許）	352千円
○馬頭小学校図書室空調設備設置工事（繰越明許）	5,481千円
○馬頭小学校北階段床張替工事（繰越明許）	777千円
○馬頭小学校北校舎非常階段塗装工事（繰越明許）	305千円
○馬頭東小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事監理業務（繰越明許）	3,255千円
○馬頭東小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事（繰越明許）	50,904千円
○馬頭東小学校図書室空調設備設置工事設計業務（繰越明許）	352千円
○馬頭東小学校図書室空調設備設置工事（繰越明許）	3,413千円
○馬頭東小学校プール塗装改修工事設計業務（繰越明許）	299千円
○馬頭東小学校プール塗装改修工事（繰越明許）	7,193千円
○馬頭東小学校プレハブ倉庫設置工事（繰越明許）	1,029千円
○馬頭東小学校体育館内物品購入（繰越明許）	1,587千円
○馬頭西小学校図書室空調設備設置工事設計業務（繰越明許）	352千円
○馬頭西小学校図書室空調設備設置工事（繰越明許）	966千円
○小川小学校図書室空調設備設置工事設計業務（繰越明許）	352千円
○小川小学校図書室空調設備設置工事（繰越明許）	9,555千円
○小川小学校遊戯施設（鉄棒）設置工事（繰越明許）	1,170千円
○薬利小学校図書室空調設備設置工事設計業務（繰越明許）	352千円

○薬利小学校図書室空調設備設置工事（繰越明許）	2, 9 6 1 千円
○薬利小学校屋内体育館改修工事設計業務（繰越明許）	3 4 7 千円
○薬利小学校屋内体育館改修工事（繰越明許）	5, 9 8 5 千円
○小川南小学校図書室空調設備設置工事設計業務（繰越明許）	3 5 2 千円
○小川南小学校図書室空調設備設置工事（繰越明許）	2, 6 7 8 千円
○中学校生徒用図書購入（繰越明許）	1, 2 3 8 千円
○馬頭中学校プール塗装改修工事設計業務委託（繰越明許）	2 5 0 千円
○馬頭中学校プール塗装改修工事（繰越明許）	4, 9 3 5 千円
○馬頭中学校校舎階段室塗装改修工事設計業務委託（繰越明許）	1 0 0 千円
○馬頭中学校校舎階段室塗装改修工事（繰越明許）	1, 9 4 3 千円

(2) 幼稚園

幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、家庭では体験できない社会・文化・自然などの体験を十分にさせながら、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った幼児を育てることに努めた。また、幼児教育の向上を図るため、教育内容の改善、施設設備の整備と教育環境の充実を図った。

○園児数の状況

- ・ひばり幼稚園 77名（3歳児24名、4歳児20名、5歳児33名）
- ・小川幼稚園 45名（3歳児 8名、4歳児15名、5歳児22名）

○子育て支援事業

町内の2歳児とその保護者を対象に、子育て支援事業（親子にこにこクラブ）を開催した。

実施回数 7回 参加人数（延べ）60組120名

(3) 学校給食センター

学校給食法の趣旨を踏まえ、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

また、学校給食を活用した食育の推進に努めた。

○給食実施状況

- ・小学校6校、中学校2校、幼稚園2園、児童生徒職員数1, 622人
- ・完全給食 給食実施回数194回（うち米飯114回）
給食実施総食数 293, 232食

（幼稚園は、5月より週3日の完全給食（水・木・金）、4月と月・火は牛乳のみの給食を実施。）

(4) 放射能対策

平成23年3月11日発生 of 東日本大震災に伴う福島第1原子力発電所の損壊による放射能漏れに対応するため、必要な措置を講じた。

○保護者・関係機関職員を対象とした講話会「放射能と放射線の基礎知識」を開催した。(1回 50人参加)

○小中学校及び幼稚園敷地の放射線測定

簡易放射線測定器により学校開業中、毎日、放射線量の測定を行い、線量の変化を確認した。

○学校給食食材の放射線量測定

安全で安心な学校給食を提供するため、給食用食材、特に、地元産食材を中心として、県所有の放射線測定器により定期的に放射線量の観察を行った。

2 社会教育

町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境の形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたって社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成をねらいに学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民に活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努めた。さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を高めることをねらいに地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

(1) 生涯学習

生涯学習の啓発・普及を図り、理解を深めるため「なかがわ町民大学」を実施した。

(2) 青少年教育

青少年の社会参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進した。また、青少年の健全育成に努めた。

○ジュニアボランティアズクラブの育成・指導

○青少年育成協会の育成・指導

○成人式の開催

(3) 成人教育

家庭教育学級、幼児教育学級、思春期講座を実施し、家庭教育などの重要性について理解を深めるとともに、家庭での実践を促すために親学習プログラムを実施した。

(4) 高齢者教育

高齢者を対象に「シルバー大学」を開設し、集団による学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

(5) 公民館活動

歴史学習（放送利用講座）、自然体験（ネイチャークラブ）や親子のふれあい（親子わくわく塾）など幅広い学習の場の提供に努めた。

また、小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、企業などによる会議や研修の場として提供した。

○利用件数 504件 利用人数 4,213人

(6) 国際交流活動

国際社会への対応と国際理解を深めるため、青少年海外体験学習派遣事業、ホームステイウィークエンド事業等を実施した。

(7) 芸術文化活動

文化祭の開催や文化団体の育成に努めた。また、小川地区の小学生を対象に、移動音楽教室を実施した。

○文化祭の開催

種 目	期 日	場 所	出展数・参加者数
総合展	11月12日・13日	総合体育館	1,223点
菊花展	11月1日～7日	南町駐車場	184点
菊花盆栽展	11月2日～6日	あじさいホール周辺	204点
邦楽民謡舞踊祭	11月12日	あじさいホール	61組
歌謡祭	11月20日	あじさいホール	112人

○南那須地区音楽祭の開催（当番町）

10月4日 総合体育館 参加団体数28団体

○移動音楽教室の実施

7月6日 あじさいホールにおいてゴスペルコンサートを実施
小川地区小学生約350名参加

○子どもの森の管理

(8) 文化財保護事業

○文化財保護団体や文化財（技術）伝承者の育成

○文化財国庫補助事業

出土文化財再整理事業

（震災被害の文化財復旧作業・県内外3大学生のべ1,700人参加）

○文化財教室の開催

小中学校への歴史学習支援のため文化財教室を開催

7月7日 小川中学校第1学年 60名

2月27日 馬頭東小学校第6学年 24名

○町内遺跡発掘調査事業

2月～3月 特別養護老人ホーム「かたくりの郷」増床計画に伴う駒形6号墳周辺

遺跡の事前発掘 平安時代の竪穴住居跡 3 軒を調査

(9) 美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い、芸術その他の文化の振興に努めた。

○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入館者数(人)
4月22日～5月22日	春季特別展 浮世絵名品展－川崎・砂子の里資料館所蔵－(前期)	2, 337
5月27日～6月26日	春季特別展 浮世絵名品展－川崎・砂子の里資料館所蔵－(後期)	1, 865
7月1日～7月31日	月百姿展－大蘇芳年没後120年記念－	1, 687
8月5日～9月11日	よみがえる江戸のお化け・妖怪	4, 601
9月16日～10月16日	秋季特別展 川瀬巴水－栃木からの旅路－(前期)	2, 359
10月21日～11月27日	秋季特別展 川瀬巴水－栃木からの旅路－(後期)	3, 695
12月3日～1月15日	青木コレクション －忠臣蔵展－	1, 587
1月24日～3月4日	青木コレクション －徳富蘇峰と青木藤作－	1, 439
3月9日～4月15日	役者見立東海道五十三駅展	1, 590
計	特別展4回、企画展5回	21, 160

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 覧 会 名	観覧者数(人)
4月2日～4月15日	相澤弘邦木版画企画展	184
4月21日～5月17日	第17回鹿沼市立川上澄夫美術館木版画大賞展	1, 450
7月12日～7月17日	2011 あいらぶ写真展	335
8月10日～8月28日	第2回なかがわまちアートフォレスタ2011	1, 245
10月5日～10月10日	散華絵展	400
10月14日～10月16日	県シルバー大学北校絵画部作品展	150
10月27日～11月3日	押花展	341
11月23日～11月27日	写真展「写友 那珂川」	188
12月9日～12月11日	建築家3人組の建築展	65

12月13日～12月18日	秋山庄太郎写真芸術協会展	519
12月25日	江戸うつし絵、影絵等の上演	45
2月14日～2月26日	第7回版画コンクール入賞作品展	430
計		5,352

○調査研究・教育普及活動

- ・ 図録の発刊 「川瀬巴水ー栃木からの旅路ー」
- ・ 秋季特別展 記念講演会 95人参加
- ・ ミュージアムトークの開催（各展覧会）
- ・ ワークショップの開催 4回 45人参加
- ・ 第7回那珂川町児童生徒版画コンクール 応募作品数：798点

(10)郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図るため、企画展等を開催した。

○展示会

会 期	展 示 会 名	観覧者数(人)
7月20日～8月31日	第12回企画展 世界の昆虫展	2,110
11月1日～1月10日	第13回企画展 那珂川町のたばこ栽培の今昔	1,562
3月11日～5月27日	パネル展 那珂川町の文化財被害と復旧の1年	418 (3月31日まで)

○展示会関連行事

期 日	展 示 会 名	場 所	参加者数(人)
7月31日	講演「虫が教えてくれたもの」	馬頭郷土資料館	52
8月4日	工作教室 「紙で・竹で・木でー虫を作ってみようー」	馬頭郷土資料館	30
11月1日	講演「屋代嘉之助と外国煙草栽培の試み」	馬頭郷土資料館	34

○普及啓発活動

- ・ 古文書講座 毎週第3土曜日開催 全10回 受講生23人
- ・ 連携事業 南那須特別支援学校による奉仕作業（清掃） 9月27日
- ・ 刊行図書 平成23年度企画展報告

○年間入館者数 7,877人 開館日数 271日

(11)山村開発センター

住民の各種研修・会議・集会等に利用された。また、行政機関、学校、企業などによる会議、研修の場として提供した。

○利用件数 453件 利用人数 9,530人

(12)図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

○図書館奉仕業務の充実

○図書館資料(図書・行政資料・逐次刊行物・郷土資料)の収集と充実

・受入冊数 3,071冊

○視聴覚資料(CD・DVD・ビデオ)の充実

○調査相談業務(レファレンス業務)の実施と充実

○教育・保育機関等への団体貸出の促進

○子ども読書活動の推進

○国立国会図書館、県内図書館等との図書館資料の相互貸借の実施と充実

○「調べ学習」支援を中心とする学社連携体制の促進

○図書館運営及び活動の調査と研究(図書館協議会)

○小川図書館移転

○ボランティア活動(婦人・高校生)の実施と充実

○年間利用状況

・登録者数 4,331人

・図書貸出冊数 74,038冊

○文化事業の開催と文化活動の推進

・お話し会	幼児～小学生対象	44回	452人
・読書会	全町民対象	24回	123人
・ブックスタート	乳幼児・保護者対象	6回	196人
・工作教室	幼児～小学生対象	5回	81人
・親子読書教室	幼児・保護者対象	2回	111人
・文芸講演会	児童・保護者対象	1回	50人
・文学散歩	全町民対象	1回	18人
・子どもの読書の日事業	幼児～小学生対象	1回	50人

(13)なす風土記の丘資料館管理運営受託事業

史跡・資料等の適切な保存を図り、これらを広く県内外の人々に公開するとともに、古代那須の歴史への理解を深め、学習の場を提供し、文化財愛護思想の普及高揚に役立てていきたいと考え、小川館・湯津上館ごとのテーマに沿った関係資料の収蔵・展示を行うほか、各種展示会や体験講座などを開催した。

○展示会関係

会 期	展 示 会 名	場 所	入館者数(人)
4月 9日～ 6月19日	第20回特別展 「大田原市の遺跡から」	湯 津 上 館	3, 1 5 3
7月23日～ 8月28日	なつ！風土記 「発見！古代なすの歴史」	小 川 館	2, 0 6 6
9月17日～11月20日	第19回企画展 「那須と白河接圏の地 東山道、そして関」	湯 津 上 館	1, 4 7 9
12月 3日～ 1月29日	冬休み小中学生向け展示会 「辰を考古学する」	小 川 館	8 3 8
2月 4日～ 3月18日	平成23年度巡回展 「栃木の遺跡 －最近の発掘調査の成果から－」	小 川 館	1, 3 0 1

○展示会関連行事

実 施 日	行 事 名	場 所	参加者数(人)
5月 1 5日	特別展記念講演会	小川館	6 6
5月 1 5日	特別展ギャラリートーク	湯津上館	4 0
6月 1 2日	春の史跡見学会	福島県いわき市方面	3 6
7月 2 4日	土器をつくろう！	小川館	2 7
8月 7日	ペーパーウェイトづくり	小川館	4
8月 2 8日	土器を焼こう！	小川館	1 9
9月 1 7日	企画展オープニング記念講演会	小川館	5 9
1 0月 2日	秋の史跡見学会	福島県白河市方面	4 6
1 0月 2 3日	企画展記念講演会・シンポジウム	ふるさと館	6 9
1 0月 2 3日	企画展ギャラリートーク	湯津上館	3 4
1 1月 6日	関越えウォーク	那須町、白河市	3 7
1 2月 4日	古代文字講座	小川館	3 0
1 2月 1 9日	ミニ門松づくり	小川館	2 1
2月 1 9日	成果発表会・遺跡発表会	小川館	1 1 3

○普及啓発活動

出前授業として県内各所から依頼を受け、講義を16回、体験教室を19回実施したほか、この地域の歴史を学び展示解説等の補助として活かす歴史解説員養成講座を全14回行った。

○連携事業

- ・小川中学校第1学年 出前講義、体験講座各1回
- ・小川中学校第1～3学年 出前講義全9回
- ・古代米の田植え、稲刈り 社会福祉協議会と共催

○刊行図書

- ・第19回企画展「那須と白河 一接圏の地 東山道、そして関一」展示図録
- ・たんけんブック② 古代なすの歴史をさぐる！の巻
(資料館周辺史跡及び常設展ガイドブック)

3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

(1) 体育施設・夜間照明施設・学校施設(体育施設)の利用状況

施設名		利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体 育 施 設	総合体育館	1 2 7	1 0	6, 0 9 0
	馬頭西体育館	2 1 4	2 0	3, 5 4 1
	小川体育館	3 3 1	2 3	8, 9 7 9
	健武体育館	1 5 7	1 3	2, 7 7 9
	武茂体育館	9 6	5	1, 3 2 8
	谷川体育館	6 3	1 1	1, 3 6 8
	大山田体育館	9 7	7	2, 2 5 0
	馬頭武道館	1 2 2	8	1, 5 2 4
	小川武道館	1 4 4	2	1, 7 2 0
	小川弓道場	—	—	—
	馬頭運動場	3 1 8	1 2	9, 4 7 9
	大山田下郷運動場	1 1 4	5	4, 2 2 6
	小川運動場	3 1 1	2 2	2 2, 4 3 5
	小川庭球場	1 4 3	9	3, 3 1 1
	那珂川町民プール	2 4	—	8 5 6
	合 計	2, 1 6 4	1 4 0	6 7, 6 3 6
(う ち 夜 間 照 明)	馬頭運動場	2 2 5	7	4, 7 4 4
	大山田下郷運動場	7 4	1 2	2, 2 5 3
	小川運動場	1 2 1	1 2	4, 2 8 5
	小川庭球場	1 0 9	3	8 7 6
	馬頭東小運動場	3 1 2	7	1 5, 7 7 6

	小川南小運動場		4 5	7	7 2 2
	合 計		8 8 6	4 0	2 8, 6 5 6
学 校 施 設	馬頭小学校	校庭	—	—	—
		体育館	1 0 2	1 0	9 0 6
	馬頭東小学校	校庭	4 4 0	7	2 0, 8 7 8
		体育館	2 4 2	9	7, 8 5 1
	小川小学校	校庭	—	—	—
		体育館	3 1	3	8 8 7
	薬利小学校	校庭	2 4	1	5 3 6
		体育館	2 4	1	5 3 6
	小川南小学校	校庭	4 5	7	7 2 2
		体育館	4 5	7	7 2 2
	馬頭中学校	校庭	—	—	—
		体育館	1 1 0	3	7 5 2
	小川中学校	校庭	—	—	—
		体育館	5	3	6 1
	合 計	校庭	5 0 9	1 5	2 2, 1 3 6
		体育館	5 5 9	3 6	1 1, 7 1 5

(2) 社会体育活動の推進（各種体育行事の開催状況）

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
○町民各種大会 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・アーチェリー ・登山 ・バレーボール ・剣道 ・スキー ・バスケットボール ・ソフトボール ・ソフトバレーボール ・ゆりがねマラソン大会	3 2	7 1	4, 4 1 1
○各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・なすみなみ若鮎駅伝競走大会 ・県民スポーツ大会	3	3	1 3 7

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(2 2 専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(3 1 支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

また、スポーツ少年団(1 1 団)や総合型地域スポーツクラブの活動支援を行った。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

- ・スポーツクラブ 91団体 1,286人
- ・スポーツ少年団 12団体 248人

○総合型地域スポーツクラブ(まほろばの里スポーツクラブ)の育成

- ・運営委員会の開催 12回
- ・定期教室 ハワイアンダンス、グランドゴルフ、卓球、3B体操、ウォーキング
- ・小学生向け教室 ソフトボール、子ども遊び教室
- ・スポーツ交流会、スポーツセミナー

(4)スポーツの普及活動

- スポーツ講習会の開催
- スポーツ傷害保険の加入促進
- スポーツカレンダーの発行

(5)第24回全国スポーツ・レクリエーション祭3B体操大会開催11月6日

- 3B体操の普及啓発
- 那珂川町実行委員会、専門委員会の会議開催

災害復旧費関係

平成23年3月11日発生 of 東日本大震災及び平成23年9月発生 of 台風15号により被害を受けた施設等について、災害復旧事業を実施した。

1 農林水産施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
農地・農業用施設災害復旧事業	地震災害 農地 1件	39,649	
	農業用施設 15件	72,016	
	台風15号災害 農地 13件	14,187	
	農業用施設 12件	17,405	
林業用施設災害復旧事業	地震災害 林道10路線 12件	30,636	
	台風15号災害 林道 4路線 4件	7,455	
	地震災害 施設 3件	12,569	
町単災害復旧事業 (農地・農業用施設)	地震災害 29件 台風15号災害 60件	12,946	

2 公共土木施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
道路・河川施設災害復旧事業	道路12件、河川2件	83,286	

3 民生施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
民生施設災害復旧事業	小川総合福祉センター建築修繕・土工工事	18,081	

4 観光施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
観光施設災害復旧事業	ふるさとの森、観光センター、扇の館、青少年旅行村、カタクリ山公園、箒川リバー公園等復旧工事	10,074	

5 教育施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
小学校施設災害復旧事業	馬頭小学校校舎災害復旧工事 外28件	18,197	国庫支出金 5,009
中学校施設災害復旧事業	馬頭中C棟階段室災害復旧工事 外16件	8,931	
幼稚園施設災害復旧事業	小川幼稚園コンクリート塀撤去及びフェンス設置工事	290	
社会教育施設災害復旧事業	馬頭総合体育館、小川体育館、馬頭西体育館、小川武道館、馬頭運動場、小川運動場、大山田下郷運動場等災害復旧工事	17,910	
郷土資料館施設災害復旧事業	郷土資料館災害復旧工事	3082	
美術館施設災害復旧事業	美術館災害復旧工事	809	

6 公共施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
公共施設災害復旧事業	消防車庫修繕工事 6棟	6,846	

平成23年度主要施策の成果（特別会計）

ケーブルテレビ事業

ケーブルテレビ施設の適正な維持管理を行い、インターネット接続サービス、CS有料放送サービス、IP電話サービスなど情報通信サービスを提供するとともに、各種の自主放送番組の提供や文字放送の充実及び広告放送の推進に努めた。

ケーブルテレビ施設の管理運営

○加入者件数	4,857件（79.5%）
・インターネット接続サービス	1,222件
・IP電話サービス	199件
・CS有料放送サービス	223件
・STBレンタルサービス	76件
○再送信サービス	
・地上デジタル放送	9局
・衛星BSデジタル放送	9局
・FMラジオ放送	4局
○CS有料放送サービス	
・ゴルフネットワーク外	25局
○通信系宅内配線工事費補助金	235千円（12件）
○主な工事	
・ケーブルテレビ線移設工事（田町、小口地内等）	19,239千円
・放送センター編集室等空調設備工事	5,124千円
○IT講習会	
・パソコン教室	12回
○主な自主制作番組	
・ニュースNタウン	収録97回 放送150時間／月
・企画番組	15回
○生中継番組	
・町議会定例会、臨時会	8回
・成人式	1回
○企画番組	
・ただいまイアンです	9回

・うた那珂カラオケのど自慢	5回
・なかがわふれあい寄席	4回
・みんな子育てわんぱく広場	5回
・スポレクとちぎ（3B体操）	4回
・各課チャンネル	2回
・那須小川まほろば太鼓15周年記念演奏会	2回
・南那須地区音楽祭	2回
・新春メッセージ	1回
・Hello元気っ子	7回
・成人式（生放送）	1回
・大那珂川人（佐藤平男さん）	1回
・未来へ、私たちの夢	1回
・幼稚園・保育園発表はっぴょう会	6回
・ニュースダイジェスト・夏	1回
・ニュースダイジェスト・冬	1回
・健康なかがわ	1回
・アニメ・那珂川町の昔話（メディアアーツ作成）	1回
・スポッ！っと那珂川町 ①（メディアアーツ作成）	1回
・スポッ！っと那珂川町 ②（メディアアーツ作成）	1回
○特別企画番組	
・ニュースダイジェスト（上半期、下半期）	
・新春あいさつ（町長、議長、教育長、JA、森林組合、商工会、観光協会）	
○その他の番組	
・県政のコンテンツ番組	3タイトル
・グリーンチャンネル	
・NHKエンタープライズ（教養娯楽番組）	
・サイエンスチャンネル（THE MAKING他）	
○ 広告放送	
・文字放送（無料）	200件
・文字放送（有料）	30件
・年賀文字放送（有料）	18件
・映像放送	3件

国民健康保険事業

保健事業においては、人間ドックなどの事業を通して、生活習慣病の早期発見、早期治療といった被保険者自身の意識の高揚と国保運営の健全化に努めた。

1 療養の給付等

療養諸費費用額負担の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	項目	件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
一般被保険者	療養の給付	72,688	1,517,993	1,101,239	379,412	37,342
	療養費	2,060	17,057	12,755	3,901	401
	計	74,748	1,535,050	1,113,994	383,313	37,743
退職被保険者等	療養の給付	8,289	189,421	132,751	54,962	1,708
	療養費	255	2,127	1,577	550	-
	計	8,544	191,548	134,328	55,512	1,708
合計		83,292	1,726,598	1,248,322	438,825	39,451

2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費に対して、次のとおり支給した。

○出産育児一時金	21件	8,820千円
○葬祭費	39件	1,950千円
○高額療養費	2,223件	156,463千円
・一般	2,068件	140,324千円
・退職	155件	16,139千円

3 国保世帯数、被保険者の状況

○平均世帯数	3,233世帯
○平均被保険者数	6,382人

4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策として、次のとおり実施した。

○特定健診	1,645名
-------	--------

○特定保健指導	149名
○医療費通知	15,922通(6回実施)
○人間ドック	213名

後期高齢者医療事業

高齢者の適切な医療費の確保を図るため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療給付を実施した。

○栃木県後期高齢者医療広域連合納付金	145,612千円
○ 〃 負担金	9,932千円
○医療給付費負担金	170,685千円
○平均被保険者数	3,406名
○健康診査受診者	医療機関健診 907名
	集団健診 427名

介護保険事業

第4期介護保険事業計画(H21～23年度)の最終年度に当ることから、介護保険事業の更なる充実に努めた。

1 被保険者の状況

65歳以上の第1号被保険者は、平成23年度末現在5,425人であった。

2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請(更新・変更)は、1,136件であり、これらを調査(一部委託)したのち、認定審査会にて審議され認定した。なお、平成23年度末の認定者数は970人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護(要支援)認定者数(平成23年度末)

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
1号被保険者	36	74	—	117	216	215	147	124	929
2号被保険者	1	3	—	4	8	6	11	8	41

計	37	77	-	121	224	221	158	132	970
---	----	----	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----

3 利用及び給付状況

介護給付利用の総件数は27,379件、給付費総額は1,347,585千円で、その主な内訳は次のとおりである。

○居宅介護サービス給付費	10,668件	492,193千円
○地域密着型居宅介護サービス給付費	889件	99,616千円
○施設介護サービス給付費	2,247件	568,114千円
・介護老人福祉施設	1,388件	336,219千円
・介護老人保健施設	770件	199,941千円
・介護療養型医療施設	89件	31,954千円
○居宅介護福祉用具購入費	48件	1,058千円
○居宅介護住宅改修費	24件	3,098千円
○居宅介護サービス計画給付費	5,480件	64,993千円
○介護予防サービス給付費	750件	20,021千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	43件	2,663千円
○介護予防福祉用具購入費	2件	36千円
○介護予防住宅改修費	2件	291千円
○介護予防サービス計画給付費	611件	2,608千円
○高額介護サービス費	2,227件	23,612千円
○高額医療合算介護サービス費	104件	2,857千円
○特定入所者介護サービス給付費	2,037件	64,712千円

4 地域支援事業

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、以下の事業を実施した。

(1) 介護予防特定高齢者施策

要支援・要介護になるおそれの高い者等の把握と介護予防事業（通所型・訪問型）を実施した。

○二次予防事業における対象者把握事業

検診申し込みと合わせて、65歳以上に「基本チェックリスト」を配布・回収し二次予防事業における対象者の把握決定を行った。

・基本チェックリスト実施者		376人
・医療機関検診（参加の可否確認）	7～9月	907人

○通所型介護予防事業

把握された特定高齢者を対象に、「運動機能の向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」を目的とした介護予防教室を実施した。

・前期教室	15回	215人
・後期教室	15回	265人
・転ばん運動教室（継続）	36回	335人
・運動サロン	24回	151人

○訪問型介護予防教室

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある特定高齢者を対象に、専門医による相談会と保健師による訪問を実施し、必要な相談、指導を実施した。

・精神保健相談会	12回	23人（うち高齢者1人）
・保健師による訪問指導		40人

(2)介護予防一般高齢者施策

一般高齢者を対象として、介護予防に関する知識の普及・啓発と、介護予防ボランティアの育成を行った。

○介護予防普及啓発事業

各单位老人クラブや町社会福祉協議会の事業と連携し、転倒予防のための運動指導を実施した。

・那珂川おたっしや会	31回	426人
・ふれ合いいいききサロン	8回	101人

○地域介護予防活動支援事業

介護予防ボランティア「ほっとなかがわ」の育成と教室への協力。

・新規ボランティア研修会	2回	14人
・サロン運営ボランティア養成教室	14回	139人
・介護予防教室への協力	90回	357人

(3)介護予防ケアマネジメント事業

特定高齢者及び要介護認定において要支援1・2となった対象者の介護予防プランの作成を実施した。

○特定高齢者介護予防プラン作成 40人

○要支援1・2の者の居宅介護予防支援 延605件（内委託108件）

(4)総合相談支援事業

介護保険その他の保健福祉サービスに関する相談や高齢者虐待に対する相談、指導の実施と介護支援専門員への指導

○介護相談件数	370件
○高齢者虐待対応	2件

○権利擁護（成年後見制度等） 1 件

○高齢者実態把握 2 1 7 件

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員への助言、指導と処遇困難事例のケース検討会の開催を実施した。

○事例検討会の開催 実人数 3 1 人（7 3 回）

(6) 任意事業

○地域自立生活支援事業（生活援助員派遣事業）

高齢者等へのホームヘルパー派遣

時間：1 5 5 時間 委託先：那珂川町社会福祉協議会

○家族介護教室

専門医による「認知症の基礎知識」の講話や、精神保健福祉士による対応の仕方の講話、又認知症の方が利用する施設の見学等を実施

開催回数：6 回 参加者：4 1 人

○認知症サポーター育成事業

「認知症サポーター講座」を実施し、地域で認知症者を支えるサポーターの育成を図った。

開催回数：3 回 参加者：1 6 0 人

○紙おむつ購入助成事業

在宅で常時紙おむつを使用する要介護 1 以上の者に対し、紙おむつ購入に要した経費を助成した。 3 5 0 件 3, 4 1 8 千円

○地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの活動状況の実績報告及び、次年度の活動予定の承認

開催日：平成 2 4 年 3 月 8 日

下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の確保のため、下水道整備の実施及び施設の維持管理に努めた。

馬頭処理区については、供用開始区域の加入促進を図った。

概要については、次のとおりである。

(1) 整備事業（馬頭処理区）

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管渠工事L=692.8m (硬質塩化ビニル管φ150)	37,695	国庫補助金 17,000

	付帯工事、公共ます設置工事	3, 250	
--	---------------	--------	--

(2) 施設管理の状況

項 目	単位	馬 頭 処 理 区	小 川 処 理 区
処理区域面積	ha	101	84
処理区内人口	人	1,845	2,834
処理人口	人	779	2,394
水洗化率	%	42.2	84.5
接続戸数	戸	346	866
年間処理水量	m ³	104,846	289,209
1日平均処理水量	m ³	383	790
年間汚泥脱水ケーキ量	t	88	266

農業集落排水事業

農業用用水の水質保全、環境の改善等を図り、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項 目	単位	北 向 田 地 区	三 輪 地 区
処理区域面積	ha	33.0	16.3
処理区内人口	人	467	342
処理人口	人	450	313
水洗化率	%	96.4	91.5
接続戸数	戸	135	91
年間処理水量	m ³	75,518	31,702
1日平均処理水量	m ³	206	87
年間汚泥引抜量	m ³	122	216

簡易水道事業

簡易水道事業として設置されている8施設における水道水の安定供給および施設能力の維持管理に万全を期した。また、東日本大震災により被災した施設の復旧工事を重点に行った。なお、東京電力福島第1原子力発電所の事故に伴う放射能対策として全施設の水道水について、毎月定期的に水質検査を行った。

(1) 主な整備事業等

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
谷田地内配水管布設工事	HPPEφ75、L=333.3m	7,802	
舟戸地内配水管布設工事	HPPEφ75、L=204.6m 地下式消火栓 1基	5,838	
高岡地内配水管布設工事	HPPEφ75、L=18.8m	1,418	
国道294小川南バイパス配水管布設工事	HPPEφ100、L=32.6m	1,050	
小砂地内水源井さく井工事	掘削口径φ310、掘削深度100m	10,500	
南部配水池災害復旧工事	仕切弁設置工事 1式 (送水管、連絡管、配水管、排水管)	4,778	国庫補助
南部配水池災害応急復旧工事	道路改良、掘削工、雨水対策 1式	(2,121) 8,400	(国庫補助)
西部配水池災害応急復旧工事	掘削工事 1式	4,305	国庫補助
西部配水池災害復旧工事	送水管布設 HPPEφ75 L=31.3m 配水管布設 HPPEφ150 L=21.0m 連絡管布設 SGP-VB80A L=2.3m 排水管 HIVP(RR)φ100 L=19.9m	11,760	国庫補助
中部配水池災害復旧工事	送水管布設 DIP(K)φ150 L=4.3m 配水管布設 DIP(K)φ200 L=5.7m 排水管 VPφ100 L=6.2m	1,838	国庫補助
小砂浄水場災害応急復旧工事	構造撤去工、掘削工	2,415	国庫補助
小砂浄水場災害復旧工事	連絡管復旧 HPPEφ150 L=18.5m 電動弁復旧φ150 1基 ブロック積工 56.07㎡	8,033	国庫補助
小砂第2配水池災害復旧工事	送水管布設 HPPEφ100 L=23.5m 配水管布設 DIP(K)φ200、HPPEφ75、VPφ75 L=26.85m 排水管 VPφ100 L=14.3m	11,330	国庫補助
小川地区管路図作成業務	管路図システム構築	3,329	

(2) 施設管理の状況

項目	小砂地区	富山地区	矢又地区	大那地区	中部地区	北部地区	南部地区	西部地区	計
給水人口 (人)	1,161	337	256	160	3,812	1,128	1,439	237	8,530
給水戸数 (戸)	376	111	79	53	1,359	347	479	66	2,870
年間総配水量 (m ³)	101,594	27,325	22,068	9,318	415,063	101,038	111,478	21,137	809,021
年間総給水量 (m ³)	81,986	23,488	19,048	8,321	330,903	87,991	110,062	17,091	678,890
有収率(%)	80.70	85.96	86.32	89.30	79.72	87.09	98.73	80.86	83.92
1日平均配水量 (m ³)	278	75	60	26	1,137	277	305	58	
1日平均給水量 (m ³)	225	64	52	23	907	241	302	47	
1人1日当り平均配水量 (ℓ)	240	222	236	160	298	245	212	244	
1人1日当り平均給水量 (ℓ)	193	191	204	142	238	214	210	198	